



日耳鼻学会FAXニュース

NO 110

平成18年1月11日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

年頭のご挨拶

日耳鼻医会理事長 清水淑郎

平成18年の新春を迎え、ご挨拶を申し上げます。

世界で最も治安の良い日本も、昨年は多くの安心・安全が脅かされました。大きな脱線事故が二度も起き、地震に弱いマンションやホテルが次々と発見され、それに悲惨な学童の殺害事件などが相継ぎました。郵政民営化を争った総選挙では、様々な話題を振りまいて小泉自民党が圧勝しました。その後ひそかに温めていた医療制度構造改革の狼煙が一気に吹き出しました。私達は、これが今後の医療の安心と安全への重大な危機であると考え、医療の安心と安全を守るために、「医会の主張」を医会FAXニュースに発表致しました。これからも色々な機会に主張をしまいたいと思います。

今後医会としての活動をより充実したものにするために、まずは日耳鼻学会の学問的指導を頂き、現場で医療活動をする事が、医会の基本姿勢であります。次には各方面との関係強化が必要です。そのため、当会理事の武見敬三先生にはいつも貴重なご報告やご指導を頂き非常に有難く思っております。厚労省関係では、昨年、医療制度構造改革の厚労省案が出た折りに、同省の濱谷浩樹室長に11月の医会長協議会で解説を頂きました。また日本医師会との関係では、昨年6月の総会で宮崎秀樹日医副会長にご講演頂き、本年1月の理事会では櫻井秀也日医副会長のご講演を予定しております。このように日本医師会をはじめ各方面との関係強化を確実に進めているところです。また、併せて各科医会との連携を一層推進したいと考えております。

当会の重要目標の一つである会員増強は、幸いにも愛知・茨城県より多数の入会者を迎える事ができました。これからも地道に努力して会員を増やしたいものです。

昨年8月の第30回臨床家フォーラムは、多くの会員家族の参加を頂き盛会裡に終わりました。今年は愛媛県、来年は岐阜県と決定しています。フォーラムの灯を消さないためにも今後とも多くの会員のご参加・ご協力をお願い致します。

最後に耳鼻咽喉科の先生方が希望に満ちた1年となりますよう願って年頭のご挨拶と致します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます

平成18年 元旦

(特)日本耳鼻咽喉科医会 役員一同

医会の主張

国民は安心と安全、そして良質の医療を求めており、財政優先の医療費削減は決して国民のためにはなりません。国民の健康を守るために日耳鼻医会は以下の事を主張致します。

- ・国民皆保険制度を堅持しよう
- ・高齢者の窓口負担増には反対する
- ・医療に対する十分な人員の配置を要望する
- ・標榜各科間の不公平の是正を要望する
- ・医療従事者の生活を守るための医療経営に配慮されることを要望する

1961年に全面実施された、この世界に冠たる日本の国民皆保険制度は、国民の命、健康を守る医療政策の基本であります。現在、政府は財政主導の医療費抑制政策のもとに、総医療費の圧縮を計り、診療費の患者負担増と大幅な診療報酬マイナス改定を進めています。これは、患者の受診抑制を招き、病気の早期発見、早期治療を妨げ、かえって疾病の重症化による医療費増に繋がる恐れがあります。

もし、この国民皆保険制度が壊れて、アメリカ型の保険制度が参入されると、安心や安全よりも、経済が優先される社会になって、貧富の差が生まれ、“誰でも、いつでも、どこでも”医療機関にかかれて、かつ安心して医療費が払え、安全で良質の医療を受けられることが出来なくなります。これで良いのでしょうか。

日本の医療は、質的には世界で1、2位を争っていますが、医療費は国際的にみて、先進国の中でも低レベルにあります。

少子高齢化が進む一方、生活レベルは向上しております。また科学技術の進歩にともない、画期的な医療機器・新薬の登場、診療技術の開発で、どうしても医療費は増大します。しかし病診連携を有効に機能させて、適所に診療を行う知恵を駆使すれば、医療費の無駄遣いが防げます。また、医療費そのものを抑制するよりも、各方面にわたる財政上の無駄を省き、補助金や公共事業の見直しを行って、医療財源を確保する必要があると考えます。良質な医療はそれなりに費用がかかることを国民に十分な説明をすべきであります。

平成18年1月

日本耳鼻咽喉科医会 広報委員会

プロスタグランジンD₂-トロンボキサンA₂受容体拮抗剤
アレルギー性鼻炎治療剤

バイナス錠

※50mg ※75mg **Baynasol** (オキサゾリン製剤) 経口投与薬

※アレルギー性鼻炎に対する安全性は確認していません。
【用法用量】参照してください

バイエルヘルスケア株式会社
Bayer HealthCare

（2006年6月現在）